



## **Cisco UC Integration for Microsoft Lync リリース 9.2(1) ユーザガイド**

初版：2013年05月28日

**シスコシステムズ合同会社**

〒107-6227 東京都港区赤坂9-7-1 ミッドタウン・タワー

<http://www.cisco.com/jp>

お問い合わせ先：シスコ コンタクトセンター

0120-092-255 (フリーコール、携帯・PHS含む)

電話受付時間：平日 10:00～12:00、13:00～17:00

<http://www.cisco.com/jp/go/contactcenter/>

**【注意】シスコ製品をご使用になる前に、安全上の注意（[www.cisco.com/jp/go/safety\\_warning/](http://www.cisco.com/jp/go/safety_warning/)）**をご確認ください。本書は、米国シスコ発行ドキュメントの参考和訳です。リンク情報につきましては、日本語版掲載時点での英語版にアップデートがあり、リンク先のページが移動/変更されている場合がありますことをご了承ください。あくまでも参考和訳となりますので、正式な内容については米国サイトのドキュメントを参照ください。また、契約等の記述については、弊社販売パートナー、または、弊社担当者にご確認ください。

このマニュアルに記載されている仕様および製品に関する情報は、予告なしに変更されることがあります。このマニュアルに記載されている表現、情報、および推奨事項は、すべて正確であると考えていますが、明示的であれ默示的であれ、一切の保証の責任を負わないものとします。このマニュアルに記載されている製品の使用は、すべてユーザ側の責任になります。

対象製品のソフトウェアライセンスおよび限定保証は、製品に添付された『Information Packet』に記載されています。添付されていない場合には、代理店にご連絡ください。

The Cisco implementation of TCP header compression is an adaptation of a program developed by the University of California, Berkeley (UCB) as part of UCB's public domain version of the UNIX operating system. All rights reserved. Copyright © 1981, Regents of the University of California.

ここに記載されている他のいかなる保証にもよらず、各社のすべてのマニュアルおよびソフトウェアは、障害も含めて「現状のまま」として提供されます。シスコおよびこれら各社は、商品性の保証、特定目的への準拠の保証、および権利を侵害しないことに関する保証、あるいは取引過程、使用、取引慣行によって発生する保証をはじめとする、明示されたまたは默示された一切の保証の責任を負わないものとします。

いかなる場合においても、シスコおよびその供給者は、このマニュアルの使用または使用できることによって発生する利益の損失やデータの損傷をはじめとする、間接的、派生的、偶発的、あるいは特殊な損害について、あらゆる可能性がシスコまたはその供給者に知らされていても、それらに対する責任を一切負わないものとします。

このマニュアルで使用しているIPアドレスは、実際のアドレスを示すものではありません。マニュアル内の例、コマンド出力、および図は、説明のみを目的として使用されています。説明の中に実際のアドレスが使用されていたとしても、それは意図的なものではなく、偶然の一致によるものです。

Cisco and the Cisco logo are trademarks or registered trademarks of Cisco and/or its affiliates in the U.S. and other countries. To view a list of Cisco trademarks, go to this URL: <http://www.cisco.com/go/trademarks>. Third-party trademarks mentioned are the property of their respective owners. The use of the word partner does not imply a partnership relationship between Cisco and any other company. (1110R)

© 2013 Cisco Systems, Inc. All rights reserved.



## 目 次

### 概要 1

Cisco UC Integration for Microsoft Lync 1

### ユーザ インターフェイスの概要 3

[ドッキング (Docked) ] ウィンドウ 3

[着信コール (Incoming Call) ] ウィンドウ 4

[コール (Call) ] ウィンドウ 4

[ハブ (Hub) ] ウィンドウ 6

[オプション (Options) ] ウィンドウ 6

### 機能 11

連絡先の検索 11

コール履歴 12

直接発信 12

連絡先のドラッグ アンド ドロップ 12

Microsoft Lync からの連絡先への発信 13

コールの受信 13

ボイスメール 14

Click to Call 機能 14

優先する電話デバイスの設定 15

コール情報ウィンドウ 16

チャット セッションの開始 16





# 第 1 章

## 概要



重要

このマニュアルは下書きであり、クライアントに含まれない機能の情報があつたり将来のアップデートに含まれる予定の情報がなかつたりする可能性があります。コミュニティ フォーラムにマニュアルのフィードバックをお寄せください。

次の項では、Cisco UC Integration for Microsoft Lync について説明します。

- [Cisco UC Integration for Microsoft Lync, 1 ページ](#)

## Cisco UC Integration for Microsoft Lync

Cisco UC Integration for Microsoft Lync は Microsoft Lync から Cisco Unified Communications へのアクセスを提供する Microsoft Windows デスクトップアプリケーションです。このソリューションは、ソフトフォン標準ベースのビデオ、ユニファイドメッセージング、会議、デスクフォン制御、電話のプレゼンスなどの幅広い一連のシスコユニファイドコミュニケーション機能へのアクセスを提供することにより、Microsoft Lync のプレゼンスとインスタントメッセージングの機能を拡張します。

Cisco UC Integration for Microsoft Lync の主な機能は以下のとおりです。

- Cisco Precision Video エンジンを使用してビデオ通話を発信および受信します。
- Cisco Unified Communications Manager を介して電話をかけ、受信します。
- Microsoft Lync の連絡先一覧との統合をドラッグ アンド ドロップおよび右クリックします。
- Microsoft Lync との統合のインスタントメッセージングおよびプレゼンス。
- コール中にミュート、保留、および転送します。
- ソフトフォンモードまたはデスクフォンモードの選択。
- 不在着信、発信、および受信のコミュニケーション履歴。
- 着信コールのオーディオまたはビジュアル通知。

- ・アドホック会議。
- ・ビジュアル ボイスメール
- ・Microsoft Outlook や Excel Ribbon、および Internet Explorer で [コール (Call) ] をクリックします。



## 第 2 章

# ユーザインターフェイスの概要

この項では、Cisco UC Integration for Microsoft Lync ユーザインターフェイスの概要を説明します。

- ・ [ドッキング (Docked) ] ウィンドウ, 3 ページ
- ・ [着信コール (Incoming Call) ] ウィンドウ, 4 ページ
- ・ [コール (Call) ] ウィンドウ, 4 ページ
- ・ [ハブ (Hub) ] ウィンドウ, 6 ページ
- ・ [オプション (Options) ] ウィンドウ, 6 ページ

## [ドッキング (Docked) ] ウィンドウ

Cisco UC Integration for Microsoft Lync には現在、画面上部に小さなウィンドウを表示しユーザがすぐに共通機能にアクセスすることができるユーザインターフェイス オプションがあります。

[ドッキング (Docked) ] ウィンドウを表示または非表示にするには、[表示 (View) ]>[ドッキング ウィンドウを表示 (Show docked window) ]を選択します。

[ドッキング (Docked) ] ウィンドウを配置するには、[表示 (View) ]>[ドッキング ウィンドウを配置 (Position docked window) ]を選択し、その後次のいずれかを選択してください。

- ・左上 (Top left)
- ・上部中央 (Top center)
- ・右上 (Top right)

[ドッキング (Docked) ] ウィンドウは次の機能へのアクセスを提供します。

- ・連絡先の検索
- ・電話番号への直接ダイアル
- ・コール履歴

## [着信コール (Incoming Call) ] ウィンドウ

- ボイスメール
- ハブの表示



## 制約事項

Microsoft Windows のタスクバーを画面上部に配置しないでください。[ ドッキング (Docked) ] ウィンドウは画面上部にのみ表示されます。画面上部に Windows のタスクバーを置く場合、タスクバーが [ ドッキング (Docked) ] ウィンドウの上に重なって表示される可能性があります。タスクバーが [ ドッキング (Docked) ] ウィンドウ上に重なる場合 [ ドッキング (Docked) ] ウィンドウにアクセスできません。

## [着信コール (Incoming Call) ] ウィンドウ

[着信コール (Incoming Call) ] ウィンドウは、着信コールを受信したときに表示されます。このウィンドウでは、次の用途のオプションを提供します。

- コールの受諾

コールを接続し会話を開始するには、[ 受諾 (Accept) ] を選択します。[ コール (Call) ] ウィンドウは、コールが接続された後に表示されます。詳細については、[ コール (Call) ] ウィンドウ、 (4 ページ) を参照してください。

- コールの拒否

コールに応答しない場合は [ 拒否 (Decline) ] を選択します。設定されている場合は、拒否されたコールはボイスメールに送信されます。詳細については、ボイスメール、 (14 ページ) を参照してください。



## [コール (Call) ] ウィンドウ

[ コール (Call) ] ウィンドウはすべての接続コール中に表示されます。このウィンドウでは、ビデオ通話中のコールの制御およびビデオの表示に関するオプションが提供されます。コールが接続されているときにビデオがどのように表示されるかを制御する方法の情報については [ オプション (Options) ] ウィンドウ、 (6 ページ) を参照してください。



[コール (Call) ] ウィンドウでは、次のコール制御が提供されます。

- **ビデオの開始**

ビデオが自動的に送信されないコールでビデオの送信を開始します。

- **全画面表示**

ビデオ表示を全画面表示に拡大します。

- **セルフビューの表示切り替え**

ユーザが送信するビデオを示す小さなビデオ表示を開きます。

- **キーパッド**

数字を入力するキーパッドを開きます。

- **ミュート**

- オーディオの音をミュートします。

- **保留**

- 現在のコールを保留中にします。

- **転送**

- 別の番号にコールを転送するオプションを提供します。

- **マージ**

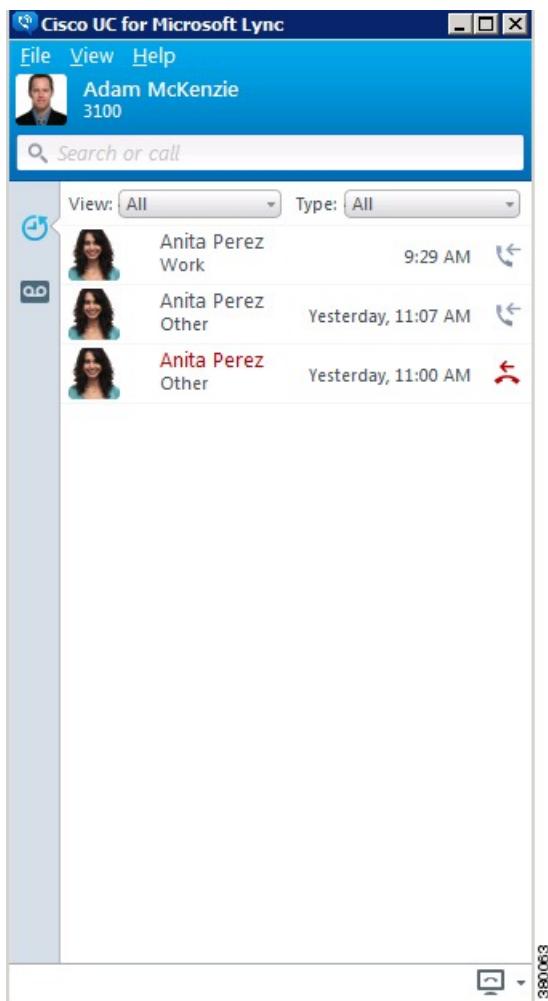
- 現在のコールを別のコールとマージするオプションを提供します。

- **電話会議**

- 電話会議を作成するためのオプションを提供します。

## [ハブ (Hub) ] ウィンドウ

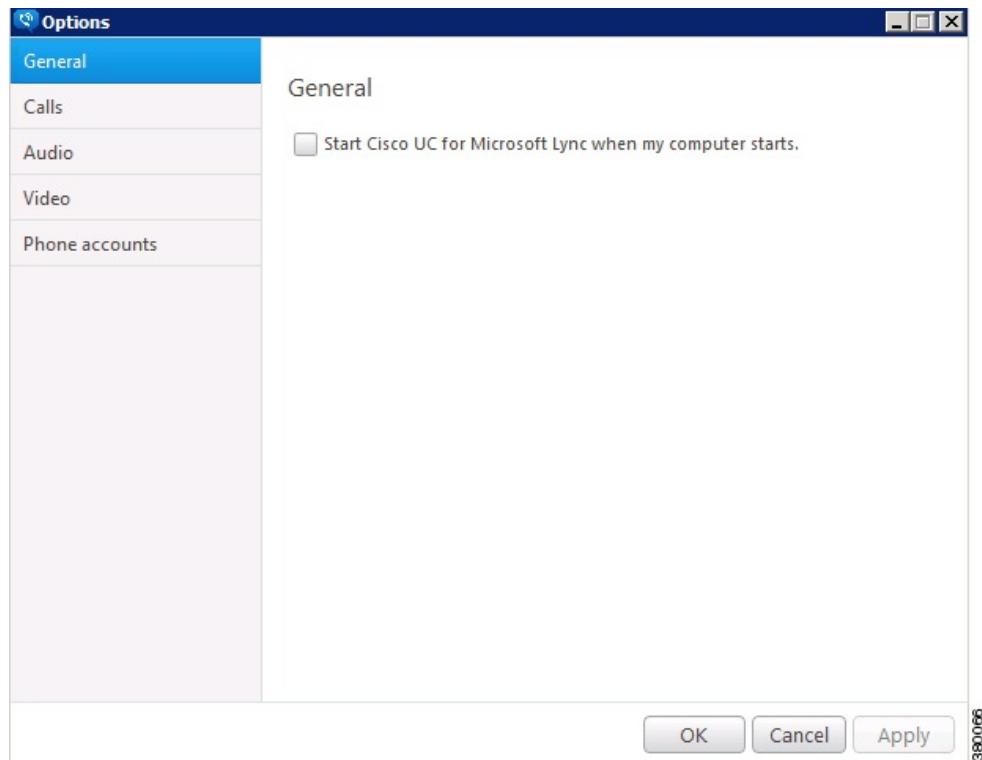
[ハブ (Hub) ] ウィンドウには、通話履歴、およびボイスメールが表示されます。電話設定もこのウィンドウで実施します。[ハブ (Hub) ] ウィンドウは、ユーザがアプリケーションに最初にログインするときに表示されますが、閉じて非表示にできます。[ハブ (Hub) ] ウィンドウが閉じているときに[ハブ (Hub) ] ウィンドウの機能にアクセスするには、[ドッキング (Docked) ] ウィンドウを使用します。詳細については、[\[ドッキング \(Docked\) \] ウィンドウ](#)、(3 ページ) を参照してください。



## [オプション (Options) ] ウィンドウ

ユーザの設定および導入に従って Cisco UC Integration for Microsoft Lync を設定するために[オプション (Options) ] ウィンドウが使用されます。[ハブ (Hub) ] ウィンドウで[ファイル (File) ] >[オプション (Options) ] ウィンドウを選択してこのウィンドウにアクセスします。このウィン

ドウで変更を行ってからこれらの変更を保存するには [適用 (Apply) ] または [OK] をクリックします。変更を取り消すには [キャンセル (Cancel) ] を選択します。



次の表に、このウィンドウで設定できる設定を示します。

カテゴリ	設定	説明
全般 (General)	コンピュータの起動時に Cisco UC for Microsoft Lync を起動する。 (Start Cisco UC for Microsoft Lync when my computer starts.)	選択した場合、コンピュータが起動されたときにこのアプリケーションが自動的に開始されます。
コール (Calls)	常にビデオを使用してコールを開始する。 (Always start calls with video.)	選択した場合、コールを開始すると自動的にビデオが送信されます。これがデフォルトの選択です。
	ビデオを使用してコールを開始しない。 (Never start calls with video.)	選択した場合、コールが開始されてもビデオは送信されません。ビデオは、コール中に手動で開始できます。

カテゴリ	設定	説明
オーディオ (Audio)	スピーカー (Speaker)	アプリケーションが使用するスピーカーをドロップダウンリストから選択します。ボリュームを調整するために、ドロップダウンリストの下のスライダを使用します。
	マイク (Microphone)	アプリケーションが使用するマイクをドロップダウンリストから選択します。ボリュームを調整するために、ドロップダウンリストの下のスライダを使用します。ドロップダウンリストの下の強度インジケータはマイクの現在のボリュームを示します。
	呼出音 (Ringer) /アラート (Alerts)	呼出音およびアラートを鳴らすために使用するデバイスをドロップダウンリストから選択します。ボリュームを調整するために、ドロップダウンリストの下のスライダを使用します。
	詳細 >> (Advanced >>)	[詳細 >> (Advanced >>)] を選択し、各オーディオデバイスの設定の順序を並び替えます。
ビデオ (Video)	カメラ (camera)	アプリケーションが使用するカメラをドロップダウンリストから選択します。カメラが正常に選択された場合、ビデオプレビューが表示されます。
	詳細 >> (Advanced >>)	[詳細 >> (Advanced >>)] を選択し、各カメラデバイスの設定の順序を並び替えます。

カテゴリ	設定	説明
電話アカウント (Phone accounts)	ボイスメール (Voicemail)	Cisco Unity Connection ボイスメールアカウントに関連づけられたユーザ名とパスワードを入力します。この情報が不明な場合は、システム管理者にお問い合わせください。Cisco Unity Connection サーバ情報を入力する必要がある場合は、[詳細 >> (Advanced >>) ] を選択します。この情報は、必要に応じてシステム管理者から提供されます。

## ■ [オプション (Options) ] ウィンドウ



## 第 3 章

# 機能

ここでは、Cisco UC Integration for Microsoft Lync の機能の情報および手順について説明します。

- ・ 連絡先の検索, 11 ページ
- ・ コール履歴, 12 ページ
- ・ 直接発信, 12 ページ
- ・ 連絡先のドラッグ アンド ドロップ, 12 ページ
- ・ Microsoft Lync からの連絡先への発信, 13 ページ
- ・ コールの受信, 13 ページ
- ・ ボイスメール, 14 ページ
- ・ Click to Call 機能, 14 ページ
- ・ 優先する電話デバイスの設定, 15 ページ
- ・ コール情報ウィンドウ, 16 ページ
- ・ チャット セッションの開始, 16 ページ

## 連絡先の検索

連絡先の検索を使用してコールを発信するには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- ステップ 1 [ドッキング (Docked) ] ウィンドウを選択します。
  - ステップ 2 検索ボックスに連絡先の名前を入力し始めます。
  - ステップ 3 検索結果から目的の連絡先を選択します。
  - ステップ 4 連絡先名の横のコール アイコンを使用して、コールを発信します。
-

## コール履歴

通話履歴を使用してコールを発信するには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- ステップ1** [ ドッキング (Docked) ] ウィンドウを選択します。
  - ステップ2** [コール (Calls) ] アイコンを選択します。  
[ハブ (Hub) ] ウィンドウが開きます。
  - ステップ3** 一覧から目的の電話番号を選択します。
  - ステップ4** 電話番号の横のコールアイコンを使用して、コールを発信します。
  - ステップ5** [ハブ (Hub) ] ウィンドウを閉じます。
- 

## 直接発信

直接発信を使用してコールを発信するには、次の手順を実行します。

### 手順

- 
- ステップ1** [ ドッキング (Docked) ] ウィンドウを選択します。
  - ステップ2** 検索ボックスに電話番号を入力します。
  - ステップ3** Enter キーを押します。
- 

## 連絡先のドラッグ アンド ドロップ<sup>®</sup>

Microsoft Lync の連絡先をドラッグ アンド ドロップしてコールを発信するには、次の手順を実行します。

## 手順

**ステップ1** [Microsoft Lync] を選択します。

**ステップ2** [ ドッキング (Docked) ] ウィンドウにドロップする目的の連絡先を選択してドラッグします。

**ステップ3** [ ドッキング (Docked) ] ウィンドウ上に連絡先をドロップします。

連絡先にコールが発信されます。

(注) Microsoft Lync 2013 ではドラッグ アンド ドロップは現在サポートされていません。

# Microsoft Lync からの連絡先への発信

Microsoft Lync 内からの連絡先に発信するには、次の手順を実行します。

## 手順

**ステップ1** [Microsoft Lync] を選択します。

**ステップ2** コールを発信するには、次のいずれかの操作を実行します。

a) 連絡先を右クリックして、[コールの発信 (Place Call) ] を選択します。

b) Microsoft Lync のインスタントメッセージウィンドウから[参加者リストの表示 (Show Participant List) ] を選択します。 参加者を右クリックし、[コールの発信 (Place Call) ] を選択します。

c) 会議コールを作成するには、Microsoft Lync グループチャットで数人の参加者を選択し右クリックします。 この機能は、Microsoft Lync 2010 に限り使用可能です。

d) 連絡先を右クリックし、Microsoft Lync の連絡先カードを表示します。 [このユーザと連絡をするためのその他のオプションを表示します (View more options for interacting with this person) ] を選択します。 コールの発信用に示されたオプションを使用します。 この機能は、Microsoft Lync 2010 に限り使用可能です。

# コールの受信

[着信コール (Incoming Call) ] ウィンドウは、着信コールを受信したときに表示されます。 このウィンドウでは、次の用途のオプションを提供します。

- コールの受諾

コールを接続し会話を開始するには、[受諾 (Accept) ] を選択します。 [コール (Call) ] ウィンドウは、コールが接続された後に表示されます。 詳細については、[コール (Call) ] ウィンドウ、 (4 ページ) を参照してください。

- コールの拒否

コールに応答しない場合は [拒否 (Decline) ] を選択します。設定されている場合は、拒否されたコールはボイスメールに送信されます。詳細については、[ボイスメール](#)、(14 ページ) を参照してください。

## ボイスメール

[ハブ (Hub) ] ウィンドウの [ボイスメール (Voicemail) ] タブで、ボイスメールにアクセスできます。このタブには、現在のすべてのボイスメールメッセージの一覧が表示されます。

Microsoft Lync for Cisco UC Integration では、社内ボイスメールへのアクセスを提供します。メイン ウィンドウで [ボイスメール (Voicemail) ] タブを選択します。このタブには、現在のすべてのボイスメールメッセージの一覧が表示されます。次のように、このタブ上のメッセージと対話できます。

- 対話するメッセージを選択。
- 再生を戻したり進めたりするために再生バーのどこでも選択。
- [一時停止 (Pause) ] ボタンを選択して、再生を一時停止。

ボイスメールメッセージを選択し、右クリックし、[削除 (Delete) ] を選択することで、ボイスメールメッセージを削除します。

再生されていないメッセージのテキストは、再生済みメッセージと区別するために太字で表示されます。

## Click to Call 機能

Cisco UC Integration for Microsoft Lync は、Microsoft Outlook、Microsoft Excel、および Microsoft Internet Explorer と統合して、これらのアプリケーションに Click to Call 機能を提供します。Click to Call は、アプリケーションから離れずに電話番号や連絡先にコールを発信する機能を提供します。次の機能が提供されます。

- **Microsoft Outlook**

- Outlook のメイン ウィンドウで現在ハイライト表示されているメッセージの送信者に、リボンにあるボタンを使用してコールを発信します (Microsoft Outlook 2010 のみ)。
- Outlook のメイン ウィンドウでコールを発信するために現在ハイライト表示されているメッセージの受信者を、リボンにあるボタンを使用して選択します (Microsoft Outlook 2010 のみ)。
- メッセージ ウィンドウのリボンから現在読んでいる電子メールの送信者にコールを発信します。
- メッセージ ウィンドウのリボンからコールを発信するには現在読んでいる電子メールの受信者を選択します。

- 連絡先または受信者一覧を選択するか、または[リボン (Ribbon) ] ボタンと[編集してコール (Call With Edit) ] オプションを使用してコールを発信します。
- 送信者または受信者のどれかを右クリックして、[追加アクション (Additional Actions) ] の右クリック メニュー項目を使用してその人にコールを発信します。送信者または受信者には直接でも、または[編集してコール (Call with Edit) ] オプションを使用してもコールを発信できます。これは、Microsoft Outlook 2003 または 2007 のみで使用可能な[スマート タグ (Smart Tag) ] オプションです。
- どのユーザへも右クリックしてコールを発信します。Microsoft Office 2007 で[連絡先 (Contacts) ]>[追加アクション (Additional Actions) ] メニューを使用します。Microsoft Office 2010 では連絡先は直接アクセスされます。連絡先には直接でも、または[編集してコール (Call with Edit) ] オプションを使用してもコールを発信できます。
- リボンにあるボタンを使用して[連絡先 (Contacts) ] ウィンドウから連絡先にコールを発信します。
- リボンにあるボタンを使用して、どの[予定表 (Calendar) ] 項目からでも連絡先にコールを発信します。

#### • Microsoft Excel

- リボンにあるボタンを使用してスプレッドシートで強調表示された電話番号にコールを発信します。
- スプレッドシートで強調表示されている電話番号を右クリックし、コールを発信します。
- 選択した値を変更したり、別の数字を入力するには、リボンの[編集してコール (Call with Edit) ] ボタンを使用します。
- 選択した値を変更したり、別の数字を入力するには、右クリック メニューの[編集してコール (Call with Edit) ] 項目を使用します。

#### • Microsoft Internet Explorer

- Web ページで強調表示されている電話番号を右クリックし、コールを発信します。
- 選択した値を変更したり、別の数字を入力するには、右クリック メニューの[編集してコール (Call with Edit) ] 項目を使用します。

各アプリケーションのサポートされるバージョンについては、『Cisco UC Integration for Microsoft Lync Release Notes』の「Software Requirements」を参照してください。

## 優先する電話デバイスの設定

優先する電話デバイスを設定するには、次の手順を実行します。

## 手順

- ステップ1** [ ドッキング (Docked) ] ウィンドウを選択します。
- ステップ2** [ ハブ (Hub) ] ウィンドウ アイコンを選択します。
- ステップ3** [ ハブ (Hub) ] ウィンドウの一番下の右隅にある電話デバイス選択ドロップ ダウンリストを選択します。  
(注) このリストには設定済みの電話デバイスがすべて表示されています。デバイスが使用可能なはずなのに使用可能でない場合は、システム管理者に問い合わせてください。
- ステップ4** 優先する電話デバイスを選択します。

## コール情報ウィンドウ

Cisco UC Integration for Microsoft Lync には、接続された着信コールの連絡先およびその他の情報を表示する機能があります。これらの情報ウィンドウは、コールが新しい Microsoft Internet Explorer のタブまたはウィンドウで接続された後に表示されます。新しい情報ウィンドウが表示されるのは、次の場合です。

- ・着信コールが接続されたとき。
- ・コールが別のユーザから転送されたとき。
- ・会議コールに参加者が追加されたとき。情報ウィンドウは会議コールのそれぞれの参加者に対して表示されます。

これらの情報ウィンドウは管理者によって設定されます。この機能が使用可能な場合は、管理者によって通知されます。

## チャットセッションの開始

Cisco UC Integration for Microsoft Lync から Microsoft Lync のチャットセッションを開始するには、次の手順を実行します。

## 手順

- ステップ1** 検索結果、[ 通話履歴 (Call History) ] タブ、または [ ボイスメール (Voicemail) ] タブ内の Cisco UC Integration for Microsoft Lync の連絡先を右クリックします。
- ステップ2** [ チャット (Chat) ] を選択します。  
(注) この機能は、Microsoft Lync 2010 に限り使用可能です。

(注) この機能は、Microsoft Lync が実行していない場合、またはユーザが署名していない場合は動作しません。

チャット セッションの開始